

バッグ製造卸  
プレジール

# 和装・洋装問わず

「江戸  
サコシ」  
合切袋をアレンジ



持ち手のロープを調整  
することで、スリーウ  
ェーで使える

ハンドバッグ製造卸のプレジール(東京、電話03・6413・1656)は、巾着タイプ

の袋物である合切袋をモダンにアレンジしたオリジナルのバッグブランド「ミナレス」で、新しいアイテムとして「江戸サコシ」の販売を始めた。和の雰囲気をもたせたデザインで、日常の様々なシーンで使えるスリーウェー仕様とし、和装・洋装を問わず使えるサコシユとして提案する。販路は百貨店。

持ち手のロープを調整することで、手持ちや斜め掛け、肩掛けバッグとして使える。表地と裏地を一緒に縫い上げる伝統的な縫製方法の「縫い返し仕立て」を採用。表面に一切縫い目を出さず、上品に仕上げた。

表素材は、汚れや水濡れに強いPVC(ポリ塩化ビニル)を使用。さまざまなスタイルに合わせて作り出したデザインにした。大(9000円)と小(7000円)の2サイズある。

同社は皇族の和装バッグのOEM(相手先ブランドによる生産)も手掛ける製地ハンドバッグの製造卸で、60年以上の歴史を持つ。職人の高齢化や人手不足にあえぐ袋物業界に「新しい伝統の風を吹かす」ため、職人の高い技術を生かしてミナレスをスタート。「伝統的な袋物の心地よさ」を発信している。

【2020年2月19日付け 織研新聞】